

競技及び審判上の注意

- 1 本大会は第11回鹿児島県バドミントンスポーツ少年団大会要項及び公益財団法人日本バドミントン協会の現行競技規則等諸規定に基づき実施します。
- 2 日本バドミントン協会「感染症対策に伴うガイドライン」に沿って対策を行います。
- 3 ユニホームには、団名・名前が入ったゼッケンを背面に添付すること。
- 4 シャトルは日本バドミントン協会第二種検定合格球「YONEX NEW エアロセンサ700」を使用します。
- 5 試合は21点1ゲームマッチ、延長無しとします。
- 6 各コートのコーチ席は1人とします。チェンジエンスの際にはコーチも替わってください。
- 7 コート番号は、ステージに向かって右側前方より1～6コート、左側前方より7～12コートです。補助体育館では、コート表示版で確認してください。
- 8 初回戦に限り2分間の練習時間を設けます。シングルスは対戦相手と、ダブルスは同チームのパートナーと練習します。（練習用シャトルは各自で持参してください。）
- 9 ダブルスの当日欠員は、オープン試合としますので早めに進行係へ連絡をお願いします。
- 10 各団、分散入場予定表及びタイムテーブルを確認し、試合開始1時間前までには体育館に入場して受付を済ませてください。
- 11 試合順は流し込み方式を基本としますが、タイムテーブルどおりにいかない場合があるので、コールには十分注意して、コールがあったら速やかにコートに入ってください。
- 12 本大会の審判について
 - (1) 初回戦は相互審判とします。本部から主審のチームを指示しますので審判用紙を本部へ取りに来てください。各チームから線審を出してください。
 - (2) 2回戦以降は、原則として敗者のチームが主審と線審を、勝者のチームが線審をしてください。審判員が不足する場合は、本部までお知らせください。
 - (3) 審判を適正にできないと認められる場合は、子供の代わりにそのチームの保護者又は指導者等が審判を行ってください。
 - (4) 主審は、次のとおり行うものとします。
 - ア 試合開始前に審判用紙に主審名を記載し、審判用紙とゼッケンで選手名を照合する。
 - イ 試合終了次第、勝者のサインをもらい、コートのモップ掛けを各選手へ指示する。
 - ウ 審判用紙を本部へ持参し、審判部の確認を受ける。
 - エ 次の試合の審判用紙を受け取り、次の主審に審判用紙を引き継ぐ。
- 13 表彰は各種目とも3位まで。3位決定戦は行いません。
- 14 その他の注意事項
 - (1) 選手、コーチ及び審判員は、試合前・試合後に各団で用意した消毒液で手指消毒を行うこと。
 - (2) 2階ホールは管理運営者より使用禁止となりましたので立ち入ることができません。
 - (3) 体育館屋内では、コート以外での練習は禁止します。
 - (4) 忘れ物、盗難に注意。貴重品は各自責任を持って保管すること。
 - (5) サッカーグラウンド、緑地グラウンドは有料施設です。ウォームアップ等で勝手にこれらの施設に立ち入らないでください。
 - (6) 主審をされた有資格者は、審判手帳を本部に提出してください。